

第15号 平成21年12月1日 発行
(偶数月発行/年6回)

七色花

【発行者】
中国・四国中国帰国者支援・交流センター
〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2
TEL 082-250-0210
FAX 082-254-2464
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

交流会目白押し

行楽の秋を迎え、中国・四国センターは大忙し。9月29日(火)グランドゴルフ交流会、10月8日(木)歌のクラスの交流会、10月27日(火)写真展の見学、11月15日(日)国際交流・協力の日の催し見学、11月18日(水)紅葉狩りと、交流会が目白押し。センター受講生は文化の秋、スポーツの秋を満喫しています。



福山市工作交流会



10月4日(日)広島県福山市の手城公民館で、工作交流会を行いました。参加者は、綿を針で刺して形を整えながら、動物や花などのキーホルダーを作るフェルティングに挑戦しました。福山市では今回の交流会で2回目でしたが、帰国者同士の交流も深まり、とても楽しい時間を過ごしました。

鳥取県中国帰国者交流会

10月18日(日)鳥取県と河北省の友好のシンボルとして建設された“燕趙園”で交流会が行われ、鳥取市と倉吉市の帰国者や支援者、33名が参加しました。午前中は陶芸を体験し、午後からは園内の散策と中国雑技を楽しみました。同じ県内に住んでいても、初対面の帰国者も多く、様々な情報交換がなされました。中には中国での出身地が同じであることがわかって盛り上がっている人もいました。日本に帰って大変なことも多いですが、同じ地域に住むもの同士、助け合っていきましょう。



山口県中国帰国者交流会



10月31日(土)山口県を交流会が行いました。当日は下関市、宇部市、防府市、岩国市の帰国者が、秋吉台に集まり、秋芳洞見学や温泉体験をしました。秋芳洞は初めての人もいましたが、「4回目ですが、他の帰国者に会いたかったので参加しました」という人もいました。帰国者の少ない地域で生活する世帯にとって、交流会は貴重な交流の機会となっている様子が伺えました。みなさん、健康に気をつけて、次の機会も是非参加してください。

企業見学・福岡定着促進センター出身者交流会

11月13日(木)、14日(金)の一泊二日で、福岡定着促進センター出身で広島県在住の帰国者が、企業見学を兼ねて、懐かしい九州を訪れました。1日目は大分県宇佐神宮参拝後、別府で地獄めぐりをしました。2日目は、すでに閉鎖された定着促進センターを見学し、その後、定着促進センターの先生や同窓生と昼食会を開いて、旧交を温めました。「会いに来てくれてありがとう。皆さんの姿を見て安心しました。」という先生方の言葉に涙した帰国者も少なくありませんでした。交流会のあと、一緒に石蔵酒造を見学し、先生方にお別れをして、広島に戻りました。帰国の喜びや帰国後の苦労など、様々なことを感慨深く思い出した2日間となりました。



第1回 日中文化芸術交流展



11月2~7日、広島市で第1回日中文化芸術交流展が開かれ、センター受講生も多数出品しました。展示会開催中は約1300人が会場を訪れ、日中両国の作品を鑑賞しました。実行委員長の岩井さん(残留孤児1世)は「多くの人の協力があった。2年後、更に充実した展示会を開きたい」と意気込みを語っていました。

地域で活躍する中国帰国者 ~香川県 大西慶子さん~



8歳で中国に渡り、4ヶ月後に終戦。逃避行の末、両親が亡くなり、兄弟6人が中国に取り残されました。兄と姉は行方不明になり、2番目の兄と私と弟と妹は同じ村のバラバラの家庭に引き取られました。兄と弟、妹は1953年に帰国しましたが、私は養父母の反対で、一人中国に残る決意をしました。16歳でした。中国では事務員や看護婦をしながら生活し、1981年に子供4人を連れて永住帰国しました。帰国当時は日本語が全く分からず、とても苦労しました。近所には日本語学校もなかったため、近くの中学校で、中学生と一緒に勉強しました。給食は楽しかったですが、体育はとても恥ずかしかったです。4ヶ月ほど日本語を勉強して、仕事を始めました。最初は簡単な仕事からでした。とても辛く、帰りに自転車をこいでいると、涙が流れました。通勤のために50歳でバイクの免許を取り、58歳で車の免許を取りました。バイクでは3回も事故に遭いましたが、入院中以外は仕事を休まず、昼休みに通院しました。2箇所折れていたのに、お医者さんが1箇所しか気付かず、治療が長引いたこともあります。中には治療費を払ってこない事故の相手もいました。後で訴えようとしたのですが、3年過ぎたらできないと言われました。言葉がわからず泣き寝入りしたことはたくさんあります。でも、会社の人や近所の人に助けられて、今を迎えています。困ったときは電話すれば、みんな助けてくれます。今は退職して、孫の面倒を見る毎日です。週に1回、公民館の手芸教室で手毬を作るのがとても楽しいです。いろいろありますが、「前向いて」頑張ります。

投稿 岡山県の帰国者 高見素美恵さんより

「中国帰国者地域交流会」
1
香川県の小豆島
寒霞溪の良い眺め
山は高く谷は深く
悩みを消し疲労を忘れる

2
精巧な手編みの蝶々
目にすれば顔がほころび
胸に飾れば美しい
贈り主の努力に感謝



香川県の池田フジ子さんが交流会参加者全員のために作ってきた蝶々のブローチ

3
海を隔てた岡山と香川
両地の交流は喜ばしい
帰国者の友が集い
センターの心遣いに感謝

4
センターの企画は好ましい
仕事への情熱にあふれる職員たち
このような交流は意義深い
来年もたくさんの交流会がありますように



12月・1月の予定

- 12月5日 地域交流会〔徳島県〕
- 12月12日 帰国者交流会〔東広島市〕
- 12月13日 切り絵教室〔岩国市〕
- 1月15・16日 全国支援・交流センター 所長会議〔広島県〕
- 1月23日 相談説明会・地域交流会〔愛媛県〕

投稿募集

みなさんからの投稿を募集しています。内容は日々の生活の出来事や中国での思い出、わたしこんな特技がありま〜す、など何でもかまいません。あなたも「七色花」に記事を載せてみませんか?原稿は400字程度で、持参、郵送、FAX、メールでお願いします。みなさまからの記事をお待ちしています。

編集後記

我が家には猫が一匹います。キジ猫です。今、1歳半、アジが大好きで、銀杏サッカーが大好きです。とっても人見知り、お客さんが玄関のチャイムを鳴らすと隠れてしまいます。朝方、布団に入って来るようになった彼に、冬の訪れを感じています。寒くなりましたので、皆さんも体に気をつけて。(橋本)

第15号

平成 21 年 12 月 1 日 发行
(双月发行/年 6 回)

七色花

【发行者】

中国·四国中国归国者支援·交流中心

社会福祉法人 广岛县社会福祉协议会
〒732-0816 广岛市南区比治山本町 12-2
TEL 082-250-0210
FAX 082-254-2464
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

交流会多不胜举

又到秋游之际，中国·四国中心忙的不可开交。9月29日(周二)的迷你高尔夫球交流会，10月8日(周四)的歌谣讲座交流会，10月27日(周二)去观看了摄影展，11月15日(周日)参加了国际交流·协力日，11月18日(周三)赏红叶，正所谓交流会多不胜举。让中心的学员饱享了文化之秋，体育之秋。



福山市手工交流会



10月4日(周日)在广岛县福山市的手城公民馆举办了手工交流会。大家利用长针来调整毛绒的形状，制成了小动物或花朵等各式的钥匙挂链，尝试了手工艺制作。这是第2次在福山市举办的交流会，借此机会加深了归国者间的交流，并与大家度过了欢快有意义的时间。

鸟取县中国归国者交流会

10月18日(周日)在做为鸟取县和河北省友好象征的“燕赵园”举办了这次交流会。鸟取市和仓吉市两地的归国者和支援者共计33名参加者。上午进行了陶艺体验，下午浏览了园内的景色，并观赏了中国杂技表演。大家虽然住在同一县内，初次见面的人也是为数不少，借此机会进行了情报互换。特别是，通过谈话间发现原来来自中国的同一地方，让双方欢心不已。回到日本后，都经历了不少艰辛，所以说居住在同一地区的归国者更应该互相扶持。



山口县归国者交流会



10月31日(周六)在山口县举办了交流会。当天下关市、宇部市、防府市、岩国市的归国者一起来到秋吉台，参观了秋芳洞并体验了洗温泉。参加者中有初次来秋芳洞的人，还有人说「已经是第4回来这里了，但是想到可以和其他归国者一起搞交流所以还是报名参加了!」。对居住归国者人数不多的地区的人而言，这样的交流会可以说是非常宝贵的机会。在此希望大家多多注意身体健康，在下次交流会上再见面!

企业参观学习·来自福冈定着促进中心者交流会

11月13日(周四)、14日(周五)一宿两日，同来自福冈定着促进中心现居住在广岛县的归国者，兼企业参观学习，走访了令人怀念的九州。第1天参拜了大分县宇佐神宫，还浏览了别府的地狱温泉胜景。第2天去已经闭锁的定着促进中心旧地重游。之后，与以前的定着促进中心的老师以及昔日同窗进行了午餐交流会。借此大家一起重温了旧情。「十分感谢大家特意从远方赶来与我们再会!再次看到大家的身影真是令人安心不少。」老师感人肺腑的话语令在场的归国者热泪盈眶。交流会后，参观了石藏酒造，与各位老师道别后，返回广岛。通过这次活动，深深感受到了大家在归国之际的喜悦以及在归国后的辛苦等，两天的活动给人留下了深刻的记忆。



第1回 日中文化艺术交流展



11月2~7日，在广岛市举办了第1回日中文化艺术展，中心的学员也积极踊跃地提出了不少展品。展览期间，约有1300名来宾到访会场，观赏了日中两国的文化作品。实行委员长的岩井女士(残留遗孤1代)满怀热情地谈到「本次展览承蒙多方人士的大力协助，十分的感谢。希望能在2年后接着举办更为充实的展会」。

活跃于当地的中国归国者 ~香川县 大西庆子女士~



我在8岁之际去了中国，4个月后战争结束。之后的逃难中，父母双亡，兄弟姐妹6人就这样留在了中国。哥哥和姐姐不知去向，二哥、我和弟弟妹妹被同一个村子的不同人家所领养。哥哥、弟弟和妹妹在1953年回到日本。由于养父母的反对，只有我一个人留了下来。当时只有16岁。之后在中国从事过财会工作、护士工作。1981年带着4个孩子回到日本定居。刚回国时，日语一点也不懂，吃了不少的苦。家附近也没有日语学校，只好到在就近的中学和普通的中学生一起学习。中午的供餐时间最有意思了，但是体育课就令人很难为情了。经过4个月的日语学习，开始工作。最初从事的是一些简单的工作。遇到心酸的事，只能一边流着眼泪一边骑着自行车回家。为了通勤方便，50岁时取得了摩托车驾照，58岁又考取了汽车驾驶执照。骑摩托遭遇了3次事故，除了住院期间没有耽误过自己的工作时间，尽量在午休时间去医院诊疗。这其中还遇到过不肯付医药费的肇事者，之后虽然提出了上诉，但是结果却是过了3年的控诉期限无法解决。这种由于语言不通只能忍气吞声的事多不胜举。但是，多靠了单位的同事以及近邻的帮助，才有了今天的自己。一旦遇到困难，一通电话，大家就会伸出援助之手。如今已经退休，每天在家带小孙子。每周还去一次公民馆，参加手工艺教室的活动。人生总会经历各种各样的事情，但是凡事都应该不断的向前看!

投稿

来自冈山县归国者高见素美惠女士

「中国归国者地区交流会」

- 1 香川县有小豆岛，寒霞溪的风景好。山高谷深迷人境，解除烦闷忘疲劳。
- 2 手编蝴蝶精又巧，看在眼里喜眉梢。饰戴胸前真是美，多谢赠者有功劳。
- 3 冈山香川隔海望，两地交流心欢畅。归国朋友得团聚，感谢中心帮大忙。
- 4 中心做法实在好，小姐工作热情高。这样交流意义大，待望来年多多搞。



香川县的池田フジ子女士专门为交流会参加者全员制作的胸针。

12月·1月预定

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| 12月5日 地区交流会〔德岛县〕 | 1月15·16日 全国支援·交流中心 所长会议〔广岛县〕 |
| 12月12日 归国者交流会〔东广岛市〕 | 1月23日 咨询说明会·地区交流会〔爱媛县〕 |
| 12月13日 剪纸教室〔岩国市〕 | |

征集投稿

向大家征集投稿。内容不限，可以是生活琐事，也可以是追忆往昔，或者是个人专长等。您不希望把自己的文章登载在「七色花」上吗?原稿字数限定为400字以内，投稿方式以直接送到中心、邮寄、FAX，期待着各位的投稿。

编辑后记

我家养了一只猫咪，是只罗纹猫。现在1岁半。最喜欢吃鲭鱼，还喜欢把银杏当球踢。可是很认生，门口只要有人按门铃就马上藏起来。最近一到早晨，它就会钻进被窝里，让人感到了冬季的到访。随着天气渐寒，大家也要多多注意身体。(桥本)